

令和6年度 英語学習実施状況について

金沢市立木曳野小学校

小学6年生 英語学習についてのアンケート(令和7年1月実施)

(%)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語の勉強が好きだ。	19.0	41.0	33.0	8.0	
問2	英語の勉強は大切だ。	63.0	30.0	5.0	2.0	
問3	ショートタイムの時間は英語の勉強に役立っている。	33.0	51.0	14.0	2.0	
問4	英語の授業の内容が分かる。	52.0	38.0	9.0	1.0	
問5	先生や友達に英語で質問することができる。	24.0	44.0	27.0	5.0	
問6	先生や友達の英語の質問に英語で答えることができる。	22.0	49.0	23.0	5.0	
問7	アルファベットの大きい文字が書ける。	84.0	14.0	2.0	0.0	
問8	アルファベットの小さい文字が書ける。	79.0	17.0	4.0	0.0	
問9	教科書やピクチャーディクショナリ - の単語や英文を書き写すことができる。	73.0	23.0	3.0	1.0	
問10	教科書の単語や英文を読むことができる。	41.0	41.0	15.0	3.0	

指導改善の具体策

- ・英語は大切、授業や先生の話す英語がわかるという肯定評価は高いが、英語が好きと答えた児童が少ないため、児童が英語で伝えたい話題や相手、場面設定を工夫して、興味関心が持てるようにする。昨年度は外国の方との交流の機会が設けられなかったので、児童が学んだ英語表現を活用できるタイミングで中学校のALT等との交流を設定する。
- ・デジタル教材やICTを用いて、個に応じた指導や自己調整学習ができるよう支援する。
- ・「聞く話す」から「読む書く」に繋げる文字指導を学年に応じて段階的に行っており文字への意識は高く、単語や英文のルールを意識して丁寧に書いている児童が多いため、フォニックス等の文字指導は今後も継続していく。

学校関係者評価

- ・「先生や友達に英語で質問することができる」の数値も、思っているより高く驚いた。また、英語の学習を大事だと感じている児童の割合が高いことは、大変素晴らしいと思う。外国の方と実際にコミュニケーションをとる機会を増やすことで、英語を使うことが「楽しい」と感じられるようになるのではないかと。
- ・英語の学習が「楽しい」と感じて、興味・関心をどんどん高めたり、英語が身近に感じられたりするよう、授業内容を工夫していくとよい。